



2025年1月1日

生活クラブ生活協同組合 理事会

〒524-0102 守山市水保町 1172 番地 1

077-584-2022 組合員数 3,478 名

インスタ

フォローしてね



@SEIKATSUCLUB_SHIGA

謹賀新年

2024年はセンター二周年を迎え
毎月マルシェやもりやまエコフエスタに出店するなど新たな取り組みにチャレンジしてきた一年でした

2025年は野菜BOXの取り組みとして、野菜を使った料理教室「やさしいクラブ」を月に一回開催する予定です。

今まで続けてきた火曜日の留置ランチやセンターでのマルシェなども引き続き開催する予定なので是非センターまで気軽に足を運んでくださいね！

またセンターに留まらずいろいろなイベントやマルシェにも出店する予定なのでもっとたくさんの方に生活クラブを知ってもらえる一年にしたいと考えています。

食べる力を繋げて、私たちだけでなく子ども達、孫達その先、、、と生産活動と生活クラブが続いていけるように邁進したいと思っております

今年もたくさんの方の企画を考え組合員のみなさんと出会える機会を作っていきます。皆さんと出会えるのを楽しみにしています。今年もよろしく願います。

理事会



ハーフバースデー会 開催しました

12/12 守山センター

赤ちゃん誕生から半年を祝う、ハーフバースデー。
離乳食やママの身体づくりにも、美味しい消費材を
使って欲しい！子育て世代の出会いの場づくりとし
て、初開催しました！

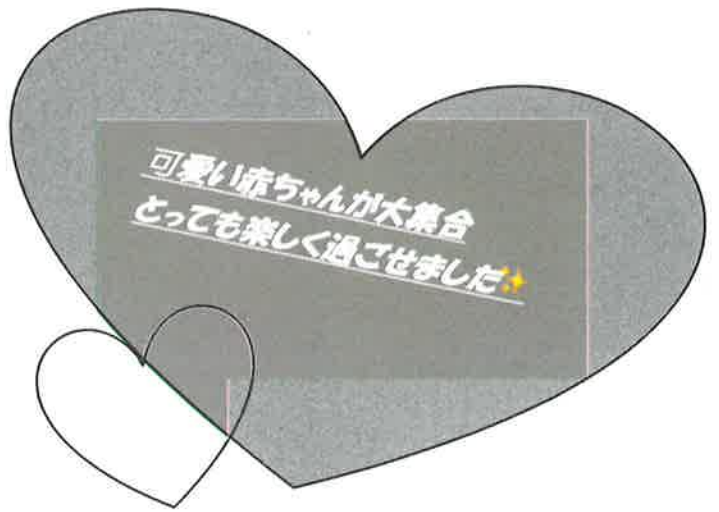
フォトブースではお好きな衣装に着替えて記念
撮影、オリジナルの王冠を作りながらママ同士たわいもない話で盛り上がり🥰
手形・足形アートではちっちゃな手足にカッコいい師範代の字で飾りたい1枚に🌟

どうその会は
誰かのサイズアウトした服やおもちゃ、不要品が、誰かの欲しかった！に
つながり身近で回りサステナブルに🌍

無農薬のにんじん&さつまいもやわか〜く煮て試食に🥕
野菜のあまみたっぷりでもぐもぐ食べてもらえました🍷
いろんなブースを楽しんだ後は
豚汁&ご飯&お漬物を食べながら
みんなでわいわいお話しして心も身体もほっかぽか🍋

お惣菜コーナーでは
なんと100円でお持ち帰り！パパの夕飯もGETして
少しでもママの負担を減らせたらなと…
特にとりミンチのハンバーグは
大人気で完売でした🌟

赤ちゃん連れて、みんなでご飯🍷
離乳食どうしてるー？
普段どう過ごしてるのー？などなど
組合員もそうでないお友だちも
わいわい交流できる場となりました🌸



「親子でSDG's体験学習 木製コンポストをつくろう」開催しました。11/23祝

～持続可能な社会づくり(SDGs: Sustainable Development Goalsの実現)に向けた～

2024年度守山市環境学習事業 NPO法人 碧いびわ湖さんと一緒に活動しています！

8月に開催した木製コンポストづくりがとても好評で、一般公開の今回の企画もコンポストを作ることにしました。

- ・家庭での生ごみたい肥づくりに関する学習（ゴミ減量と脱炭素社会づくり）講師 あちゃはぴ八尋さん
- ・生ごみをたい肥化する木製コンポストの制作（DIY: 日曜大作業）

午前の部、午後の部に分かれてたくさんの方がコンポストDIYにチャレンジしました🌟🌟24個のコンポストが完成！

お勉強を少ししてからみんなそれぞれ組み立てていきました！

コンポストづくりは、今回はDIYサポーターとして大学生や

小中学生も加わりスムーズに完成👏

出来上がる頃には外でかまどを使って、豚汁と羽釜ご飯も完成🍲

午前の方も午後の方も一緒にみんなでワイワイ

消費材の美味しいご飯を食べました。一般参加者には

竜王のおうみ米や米沢郷牧場の無農薬米が好評でした！

マッチを触ったことのない子どもたちも

この日は自分で火付け体験🌟🌟

新しいことをする子どもの目はキラキラでした♡

現在生活クラブでは、守山市、碧いびわ湖と協働して

脱酸素社会に向けた取り組みを行っています(^)



家庭からのゴミを減らすことから第一歩！

みんなで取り組み、子どもたちにより良い未来を残していきましょう👏

後日1名の加入、仲間が増えました。

庄内豪雨復興支援カンパ

連合会全体で45,546,680円 滋賀からは181,500円集まりました。

7月25日に発生した豪雨により、遊佐町の水田や畑、住宅などが浸水、土木の流入など大きな被害を受けました。連合会は、酒田市、遊佐町と、JA庄内みどりと災害支援協定を2016年に結んでおり、8/31～10/16までの間連続して、のべ129人、連合会役職員や組合員が現地で復旧作業に参加しました。滋賀からも一日だけですが終盤の10月に参加しました。水田に流入した流木などの撤去や手刈りでの収穫などを行なったことで、コンバインが入ることが出来、当初半ば収穫を諦めていた圃場でも収穫が行われたそうです。共同開発米部会以外の圃場にもボランティアに入ったことで、ほぼ残すことなく刈り取りすることができたそうです。集まったカンパは、JA庄内みどりと、共同開発米部会、月山農場他、生産者へお見舞金として、また酒田市、遊佐町へ義援金、ボランティアの旅費に充てました。大きな災害が頻繁に起きるようになりました。日頃の提携関係から、このような仕組みを築いて備えることが大事な時代なんだと実感しました。

秋久保

■2024年度11月関西材の放射能検査結果

生産者	対象消費材	産地	実施日	検査機関	Cs134	Cs137	セシウム合計
ハケタ会	りんご(ふじ)	長野県	11月	連合会	ND	ND	ND/6.0
石井養豚センター	豚もも肉	徳島県	11月	連合会	ND/1.0	ND/1.2	ND/2.2
四万十木の子会	原木生しいたけ	高知県	11月	連合会	ND	ND	ND/6.0
白州	大根	山梨県	11月	連合会	ND	ND	ND/6.0



ワクワクする再エネ社会を歩く

デンマークを後にドイツベルリンへ向かう。空から見えた風景に釘付けになる。無数の風車群、広大な農地に 20~30 本まとめて立っている。まるでマッチ棒。

ドイツ全土の風車はなんと 34,000 本！農地の 2% を風車用地指定するのが目標でこの数でも 0.8% ほど。1% になればドイツのエネルギー総量を賄う量の発電ができるそう。風車の持ち主はほとんどが自治体やエネルギー協同組合、農家など市民。出資し、利益を得ている。まさに自分たちの風車ということで、反対運動は起こっていないそうだ。バードストライクもほとんど起きていない。日本では到底考えられない！と思ったけれど。ドイツでレクチャーを受け、現地を目の当たりにする中で、日本でもできるぞ！という思いが膨らんだ。今年度はエネルギー基本計画の 3 年毎の見直しの年でいよいよ大詰め、「原発の依存度を低減していく」という言葉は明記しない方向で調整が進んでいるというニュース。世界は再エネ産業への投資が進み、中でも太陽光、風車、蓄電池のコストはこの 10 年で大幅に下がった。太陽光パネルは日本国内でリサイクル技術が進み 90% はゴミにならない。視察で得たエネルギーについての正しい情報をもう少しここで発信していきます。



月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4
		センター休み			
5	6	7	8	9	11
		留置ランチ 配送スタート		栗東市学区会	草津市学区会
12	13	14	15	16	18
		留置ランチ 東近江市・湖東 合同学区会		中期計画会議	ぷくぷく作業所 出店
19	20	21	22	23	25
野洲市学区会	0-加ミテツク	スキニシー 留置ランチ 日野町学区会 竜王町学区会	湖南学区会 中・南大津学区会	守山市学区会	生産者交流会 (もちつき)
26	27	28	29	30	31
	理事会	留置ランチ 北大津学区会	近江八幡市学区会	野菜クラブ	